

リサイクルの基本 ~もう一度 分別ポイントを確認しましょう~

保存版

飲料用のアルミ缶・スチール缶

○もう一度アルミ缶・スチール缶にリサイクルされたり、鉄鋼製品になったり
「何にでも」「何度も」リサイクルされています

分別ポイント

※缶詰やミルクの缶は不燃ごみです

- ①リサイクルマークのあるもの出す（マークのない缶は不燃ごみ）
- ②中をサッとすすぎます
(中に異物が入っているとリサイクルが不可能になります)
- ③缶はつぶさないで出す
- ④キャップは必ずはずして「不燃ごみ」
- ⑤アルミ缶とスチール缶を分別する必要はありません



ペットボトル

○もう一度ペットボトルにリサイクルされたり、石油原料となってペットボトル
再利用品としてさまざまな製品に生まれ変わっています

分別ポイント

- ①リサイクルマークのあるもの出す（マークのないボトルは可燃ごみ）
- ②中をサッとすすぎます
(中に異物が入っているとリサイクルが不可能になります)
- ③キャップは必ずはずして出す
(※はずしたキャップは小袋に入れ、ペットボトルと同じ袋に入れて出す)
- ④ボトルはつぶさないで出す
- ⑤ラベルは無理にはがさなくても大丈夫
- ⑥キャップをはずした後に残るリングは無理に取る必要はありません



白色の食品トレイ

○もとのプラスチック原料（石油原料）にリサイクルされています

分別ポイント

- ①水でサッとすすぎます
- ②「白」以外で色や柄が付いた食品トレイは「可燃ごみ」



牛乳パック

○牛乳パック約6枚からトイレットペーパーが1個できます

分別ポイント

- ①「洗って・開いて・乾かして」
- ②キャップや注ぎ口が付いているものは、切り取って出す
- ③内側にアルミ箔が貼ってあるものは「可燃ごみ」



飲料用のガラスビン

○「ガラスビン」から「ガラスビン」に無駄なくリサイクルされています

分別ポイント

- ①キャップは必ずはずして「不燃ごみ」
- ②中をサッとすすぎます
(中に異物が入っているとリサイクルが不可能になります)
- ③ラベルは無理にはがさなくても大丈夫
- ④リサイクルできるガラスビンは「飲料用のガラスビン」
(※油の入ったビン、焼肉たれの入ったビンなど飲料用以外は「不燃ごみ」)
- ⑤割れたガラスビンは「不燃ごみ」



新聞・雑誌・ダンボール

○紙は再生に適した環境にやさしい素材です

もう一度再生紙としてさまざまな製品に生まれ変わっています

分別ポイント

種類別に分別して、紐等で縛ってください

「新聞」

- ①折込チラシは、新聞と併せて出す



「雑誌」

- ①包装紙、紙袋、メモ用紙、はがき類、封筒
お菓子の空き箱などは雑誌と併せて出す



- ②カーボン紙・感熱紙はリサイクルできないので、分別して「可燃ごみ」

- ③ビニールカバー、ダイレクトメールのビニール袋は、分別して「可燃ごみ」

「ダンボール」

- ①プラスチックや金属類ははずして出す

